

<臨床研究に関する公開情報>

研究課題名：苦痛のスクリーニング導入前後の緩和ケア介入件数に関する後方視的コホート研究

近年がん患者数の増加を背景に緩和ケアの重要性が指摘されています。厚生労働省は、がん診療連携拠点病院の緩和ケアの提供体制として、全てのがん患者に「苦痛のスクリーニング」という問診票を実施し適切なケアにつなげることを要件の一つに挙げています。当院では2018年2月から化学療法導入時および変薬時に苦痛のスクリーニング「生活のしやすさに関する質問票」を実施できるよう整備しました。この臨床研究は、苦痛のスクリーニング導入前後の緩和ケア介入件数の変化を明らかにし、現行のスクリーニングが緩和ケア介入の増加に寄与しているかを検証することを目的にしています。このため、2015年7月～2019年3月に当院で化学療法を導入あるいは変薬を実施されたがん患者さんの診療録(カルテ)を調査します。すでに存在する診療録を調査するだけですので、本研究が患者さんの健康に今後関係することや、この研究に際して患者さんに費用が発生することは一切ありません。結果は医学論文で発表する予定です。データは匿名化し個人を特定できる情報の流出がないよう個人情報には細心の注意を払いますが、個人のデータ使用を希望されない方がおられましたら、ご連絡を頂ければそのように対応いたします。この研究につきご質問・ご要望等がございましたら下記まで連絡していただきますようお願いいたします。

研究責任者：伊木れい佳（いきれいか）

兵庫県立尼崎総合医療センター、緩和ケア科

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77

TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001